

日本鉄鋼協会記事

第6回理事会 日時：9月18日(月)午後4時より、会場：協会々議室。出席者：浅田会長ほか14名。

報告事項 Ⅰ. 評議員皆川孝光、寒川恒一郎両氏逝去の件。Ⅱ. 編集委員会に関する件。Ⅲ. 企画委員会に関する件。Ⅳ. 「鉄と鋼」海外版第1号完成の件。Ⅴ. 秋季大会に関する件。Ⅵ. 明年度秋季大会開催地に関する件。Ⅶ. クリープ試験に関する件。

協議事項 Ⅰ. 理事小野田武夫、川崎勉両氏辞任の件。Ⅱ. 企画委員交代の件。Ⅲ. 鉄鋼の真空型発光分析方法工業標準原案作成受託の件。Ⅳ. 東海支部に補助金交付の件。Ⅴ. 第3回原子力総合発表会共催の件。Ⅵ. 標準化全国大会協賛の件。Ⅶ. 事務局職員退職の件。Ⅷ. 7月および8月中収支決算の件。Ⅷ. 7月および8月中入退会その他会員異動の件。

第6回編集委員会 日時：8月29日(火)午後5時より、会場：協会々議室。出席者：佐藤理事ほか16名。

報告事項 Ⅰ. 会誌第9号完成および第10号完成見込について。Ⅱ. Tetsu-to-Hagané Overseas (欧文誌) Vol. 1 No. 1の完成について。Ⅲ. 修正を要するため著者に返却した原稿について。

協議事項 Ⅰ. 会誌第9号の講評。Ⅱ. 投稿論文の審査。Ⅲ. 会誌第11号掲載論文の選定。Ⅳ. 鉄共研中小形分科会報告原稿の審査。Ⅴ. 鉄共研線材分科会報告修正原稿について。

第7回編集委員会 日時：9月26日(火)午後5時より、会場：協会々議室。出席者：佐藤理事ほか16名。

報告事項 Ⅰ. 会誌第10号完成および第11号完成見込について。Ⅱ. 会誌第12号随想について。Ⅲ. 会誌第13号(臨時増刊号)について。

協議事項 Ⅰ. 会誌第10号の講評。Ⅱ. 投稿論文の審査。Ⅲ. 会誌第14号掲載論文の選定。Ⅳ. 技術資料について。

第6回企画委員会 日時：9月12日(火)午後5時より、会場：協会々議室。出席者：近藤理事ほか8名。

報告事項 Ⅰ. 小野田理事および鶴瀬企画委員辞任の件。Ⅱ. 欧文誌第1巻第1号完成の件。Ⅲ. 本多記念賞候補者推薦の件。Ⅳ. 秋季大会に関する件。

協議事項 Ⅰ. 毎日工業技術賞、機械学会賞、大河内賞、東洋レーヨン科学技術賞および東洋レーヨン科学技術助成金候補者推薦の件。Ⅱ. タタラ炉の科学的究明について。

工業標準原案作成委員会設置 さきに工業技術院から委託を受けた工業標準原案作成のため、理事会の決議により今回本会内に次の3委員会が設置された。

鋼の脱炭層深さ測定方法工業標準原案作成委員会

委員長 松下幸雄氏

鋼の火花検査法工業標準原案作成委員会

委員長 石原善雄氏

鉄鋼の真空型発光分析方法工業標準原案作成委員会

委員長 池上卓穂氏

欧文誌の発行 かねて計画中の欧文誌は、「Tetsu-to-Hagané Overseas」と題し、8月末第1巻第1号を発行した。第2号、第3号も引続き準備中(本誌会告N43参照)

評議員逝去 評議員寒川恒一郎氏(東海電極製造株式会社社長)は8月26日病気で逝去されました。謹んで弔意を表します。

理事辞任 理事小野田武夫、理事川崎勉両氏は地方に転任のため理事を辞任された。

企画委員交代 企画委員鶴瀬浩氏辞任、後任に高野広氏(日本鋼管株式会社技術部企画室長)を委嘱した。

北陸支部 9月18日午後1時より金沢大学理学部において第6回特別講演会・映画会を開催した。

講演 高速写真による造塊時のスプラッシュに関する研究

東北大学選鉱製錬研究所教授 斎藤恒三氏

映画 「鉄をつくる」・「軽量形鋼の家」

富士製鉄株式会社提供

東海支部 8月23日より25日まで3日間名古屋大学工学部において第4回金属材料講習会を開催。講義終了後大同製鋼研究所で鉄鋼材料の無酸化焼入の実習を行なった。

関西支部 9月16日午後1時40分から神鋼線鋼索株式会社内で9月例会を開催。(1)同社富岡敬三氏のPC鋼線およびPC鋼より線のリラクゼーションについて。(2)同社川端義則氏のワイヤロープ繰返し曲げ疲労試験機と二、三の実験結果の講演があり、終つて同社工場の見学を行なった。

中国四国支部 9月8日10時30分より広島大学理学部において金属表面硬化技術講演会を開催した。当日の講演は次の通りであつた。

Tufftride法(軟窒化法)について

西独デグサ社極東派遣員

H. ウィッケ氏

諸外国における金属容射

日本熱処理工業取締役

菊池麟平氏

超硬滲透(アトムロイ)

第一実業営業部課長

中村克己氏

原子合金専務取締役

ヘンリー・芦莉氏